

HLA 135, 135 K

STIHL



2 - 25 取扱説明書



目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	5
5	ヘッジトリマーの使用準備.....	10
6	バッテリーの充電、LED.....	11
7	起動と停止 Bluetooth® 無線通信インターフェース.....	11
8	ヘッジトリマーの組み立て.....	11
9	バッテリーの取り外しと取り付け.....	12
10	ヘッジトリマーのスイッチオン/オフ.....	12
11	ヘッジトリマーとバッテリーのテスト.....	13
12	ヘッジトリマーの操作.....	13
13	作業後.....	15
14	運搬.....	15
15	保管.....	16
16	清掃.....	16
17	整備.....	17
18	修理.....	18
19	トラブルシューティング.....	18
20	技術仕様.....	19
21	キャリングシステムの組み合わせ.....	21
22	スペアパーツおよびアクセサリ.....	21
23	廃棄.....	21
24	EC 適合証明書.....	21
25	UKCA 適合宣言.....	22
26	パワーツールの安全上の一般的警告事項.....	22

1 ごあいさつ

お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。

M. S. Stihl

Dr. Nikolas Stihl

重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 適用文書

現地の安全規則が適用されます。

▶ この取扱説明書に加えて以下の文書を読み、内容を理解し、保管してください：

- 使用するキャリングシステムの取扱説明書
- バッテリー STIHL AR の取扱説明書
- 接続ケーブル付きベルトバッグ AP の取扱説明書
- バッテリー STIHL AP の安全上の注意事項
- 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書
- STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

STIHL コネクテッド、互換性のある製品とよくある質問に関する詳細情報については、www.connect.stihl.com をご覧になるか、STIHL サービス店にお尋ねください。

Bluetooth® 文字商標および図形商標（ロゴ）は、Bluetooth SIG, Inc の登録商標かつ所有物です。STIHL によるこの文字商標・図形商標の使用は、どの場合でもライセンスのもとで行われています。

Ⓞマークが付いたバッテリーには、Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっています。各地での使用上の制限（航空機や病院内など）に従う必要があります。

2.2 本文中の警告通知

⚠ 危険

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらすリスクを意味します。
 - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

⚠ 警告

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらす**おそれがある**リスクを意味します。
 - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取るによって回避することができます。

注記

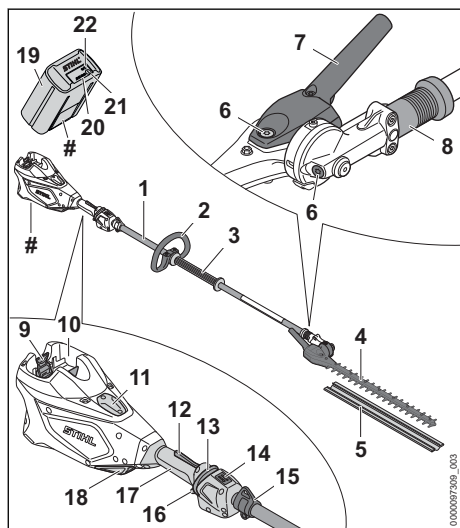
- この通知は、器物損壊等をもたらすおそれがあるリスクを意味します。
 - ▶ 器物損壊等は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

2.3 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

3 概要

3.1 ロングリーチヘッジトリマー
STIHL HLA 135 とバッテリー

- 1 シャフト
シャフトによって全部品が連結されます。
- 2 ループハンドル
ループハンドルは、ロングリーチヘッジトリマーの操作と持ち運びを行うためのものです。
- 3 ハンドルホース
ハンドルホースは、ロングリーチヘッジトリマーの保持と制御に使用します。
- 4 カuttingブレード
カuttingブレードは草木を切断します。
- 5 ブレード鞘
ブレード鞘により、カuttingブレードとの接触から保護されます。
- 6 スクリュープラグ
スクリュープラグは、STIHL ギア用グリースの開口部を塞ぎます。
- 7 スイベルハンドル
スイベルハンドルを使用して、カuttingブレードの角度を調整します。
- 8 スライディングスリーブ
スライディングスリーブを使用して、カuttingブレードの角度アジャスターのロックを解除します。
- 9 ロッキングレバー
ロッキングレバーを使用して、バッテリーをバッテリーコンパートメントの中に保持します。
- 10 バッテリーコンパートメント
バッテリーコンパートメントにバッテリーを挿入します。
- 11 カバー¹
カバーはスマートコネクター 2 A の代替品として機能します。
- 12 トリガーロックアウト
トリガーロックアウトを使用して、トリガーのロックを解除します。
- 13 リリーススライド
リリーススライドは、ロングリーチヘッジトリマーのスイッチを入れるためのものです。
- 14 LED
LED は設定されたパワーレベルを表示します。
- 15 吊り下げ用リング
吊り下げ用リングは、キャリングシステムを掛けるためのものです。
- 16 トリガー
トリガーを使用して、ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオン・オフにします。
- 17 コントロールハンドル
コントロールハンドルは、ロングリーチヘッジトリマーの操作、保持、制御に使用します。
- 18 エアフィルター
エアフィルターは、エンジンが吸い込んだ空気をろ過します。
- 19 バッテリー
ロングリーチヘッジトリマーにはバッテリーから電力が供給されます。

¹ カバーはエンジンハウジングの一部です。カバーの取外しは、スマートコネクター 2 A の取付けのためだけに行い、後に再び取り付けることができるように大切に保管してください。ロングリーチヘッジトリマーは、必ずカバーまたはスマートコネクター 2 A を装着して使用してください。

20 LED

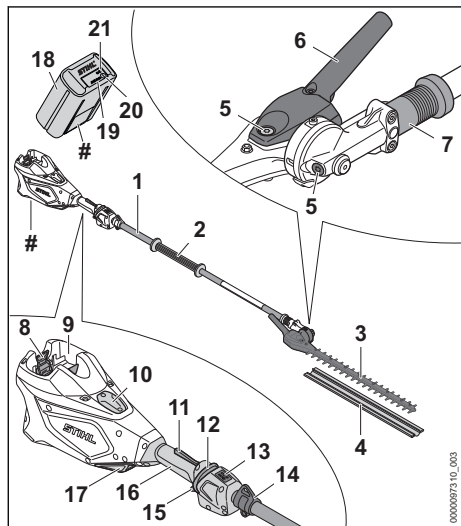
LED はバッテリーの充電状態と障害を表示します。

21 プッシュボタン

プッシュボタンを押すと、バッテリーのLEDが有効になります。Bluetooth®無線インターフェース（装備されている場合）がオン・オフになります。

22 LED「BLUETOOTH®」(マークが付いたバッテリーの場合のみ)

LED は Bluetooth®無線インターフェースのオン・オフを表示します。

マシン番号が記載された出カラベル**3.2 ロングリーチヘッジトリマー
STIHL HLA 135 K とバッテリー****1 シャフト**

シャフトによって全部品が連結されます。

2 ハンドルホース

ハンドルホースは、ロングリーチヘッジトリマーの保持と制御に使用します。

3 カuttingブレード

カuttingブレードは草木を切断します。

4 ブレード鞘

ブレード鞘により、カuttingブレードとの接触から保護されます。

5 スクリュープラグ

スクリュープラグは、STIHL ギヤ用グリースの開口部を塞ぎます。

6 スイベルハンドル

スイベルハンドルを使用して、カuttingブレードの角度を調整します。

7 スライディングスリーブ

スライディングスリーブを使用して、カuttingブレードの角度アジャスターのロックを解除します。

8 ロッキングレバー

ロッキングレバーを使用して、バッテリーをバッテリーコンパートメントの中に保持します。

9 バッテリーコンパートメント

バッテリーコンパートメントにバッテリーを挿入します。

10 カバー²

カバーはスマートコネクター 2 A の代替品として機能します。

11 トリガーロックアウト

トリガーロックアウトを使用して、トリガーのロックを解除します。

12 リリーススライド

リリーススライドは、ロングリーチヘッジトリマーのスイッチを入れるためのものです。

13 LED

LED は設定されたパワーレベルを表示します。

14 吊り下げ用リング

吊り下げ用リングは、キャリングシステムを掛けるためのものです。

15 トリガー

トリガーを使用して、ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオン・オフにします。

16 コントロールハンドル

コントロールハンドルは、ロングリーチヘッジトリマーの操作、保持、制御に使用します。

17 エアフィルター

エアフィルターは、エンジンが吸い込んだ空気をろ過します。

18 バッテリー

ロングリーチヘッジトリマーにはバッテリーから電力が供給されます。


19 LED

LED はバッテリーの充電状態と障害を表示します。

²カバーはエンジンハウジングの一部です。カバーの取外しは、スマートコネクター 2 A の取付けのためだけに行い、後に再び取り付けることができるように大切に保管してください。ロングリーチヘッジトリマーは、必ずカバーまたはスマートコネクター 2 A を装着して使用してください。

20 プッシュボタン

プッシュボタンを押すと、バッテリーのLEDが有効になります。Bluetooth®無線インターフェース（装備されている場合）がオン・オフになります。


21 LED「BLUETOOTH®」（マークが付いたバッテリーの場合のみ）


LEDはBluetooth®無線インターフェースのオン・オフを表示します。


マシン番号が記載された出力ラベル


3.3 記号


この記号はロングリーチヘッジトリマーおよびバッテリーで見受けられ、その意味は以下の通りです：


 この位置ではクランプナットのロックが解除されています。シャフトを引き出すことができます。

 この位置ではクランプナットがロックされています。シャフトを引き出すことはできません。


 この記号は、リリーススライドを示しています。


 1つのLEDが赤色に点灯する。バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。

 4つのLEDが赤色で点滅する。バッテリー内部に障害があります。

 **LWA** 指令 2000/14/EC に準拠した音響パワーレベル保証値。単位 dB(A)。製品の騒音が比較可能になります。

 バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっており、STIHL コネクテッドアプリと接続することができます。


 記号の横にある数値は、セルメーカーの仕様に基づいたバッテリーのエネルギー容量を示しています。使用時に利用できるエネルギー容量はそれより小さくなっています。

 製品を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

4 安全に関する重要事項

4.1 警告マーク

警告マークはヘッジトリマーまたはバッテリーに貼示されており、その意味は以下の通りです：

 安全上の指示とその対策を遵守してください。



取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



保護メガネと保護ヘルメットを着用してください。



防護ブーツを着用してください。



作業用手袋を着用してください。



作動中のカッティングブレードに触れないようにしてください。



安全な距離を維持してください。



作業中断中、運搬中、保管中、メンテナンス・修理中はバッテリーを取り出してください。



バッテリーを熱や火から保護してください。



バッテリーを液体に浸さないようにしてください。



高温の面に触れないでください。


4.2 正しい使用方法

ロングリーチヘッジトリマー STIHL HLA 135 は、生垣や高い茂み、低木、やぶや灌木を切断するためのものです。

ロングリーチヘッジトリマー STIHL HLA 135 K は、茂み、低木、やぶや灌木を切断するためのものです。

ロングリーチヘッジトリマーは雨天時にも使用することができます。

ロングリーチヘッジトリマーには、バッテリー STIHL AP または STIHL AR から電力が供給されます。

 マークが付いたバッテリーでは、STIHL コネクテッドアプリと組み合わせて、Bluetooth®テクノ

ロジールに基づいてバッテリーに関する情報をパーソナライズして転送することができます。

▲ 警告

- STIHL がロングリーチヘッジトリマー用に許可していないバッテリーを使用すると、火災や爆発に至る可能性があります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーはバッテリー STIHL AP または STIHL AR と共に使用してください。
- ロングリーチヘッジトリマーまたはバッテリーを正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーは、この取扱説明書の記載通りに使用してください。
 - ▶ バッテリーは、この取扱説明書、バッテリー STIHL AR の取扱説明書、STIHL コネクテッドアプリそして www.connect.stihl.com の記載通りに使用してください。

4.3 作業者

▲ 警告

- 適切な研修または指導を受けていない使用者は、ヘッジトリマーとバッテリーの使用に伴う危険の認識や評価ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。

- ▶ ヘッジトリマーまたはバッテリーを譲渡する場合、必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしていることを確認してください：
 - 使用者は十分な休息をとっている。
 - 使用者は、ヘッジトリマーとバッテリーを操作するために適切な身体的かつ精神的な状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は、責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。
 - 使用者は、ヘッジトリマーとバッテリーの使用に伴う危険を認識し、評価することができる。
 - 使用者は法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従った監督下での職業訓練を受けていなければなりません。

- 使用者は、初めてヘッジトリマーを使用する前に、STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けてください。
- 使用者はアルコールまたは薬物の影響を受けてはなりません。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

4.4 衣服と装備

▲ 警告

- 操作中、長髪はロングリーチヘッジトリマーに引き込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。
- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。
 - ▶ ヘルメットを着用してください。



- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷つけ、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
 - ▶ 粉塵が発生するときは、防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は、木々、茂み、またはロングリーチヘッジトリマーに絡まるおそれがあります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
 - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 清掃中または整備中にカuttingブレードに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。



- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りのも、足が露出しない靴を着用してください。



4.5 作業エリアおよび周辺環境

4.5.1 ロングリーチヘッジトリマー

▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、ロングリーチヘッジトリマーまたは飛散物の危険の認識や認知ができません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから5mの範囲内に入らせないでください。

- ▶ 器物から5mの間隔を維持してください。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを無人のまま放置しないでください。
- ▶ 子供がロングリーチヘッジトリマーで遊ばないように注意してください。
- ロングリーチヘッジトリマーの電気部品から火花が発生することがあります。引火や爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
 - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

4.5.2 バッテリー

▲ 警告

- 関係者以外、子供および動物は、バッテリーの危険性について認識することも判断することもできません。関係者以外、子供および動物が重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 関係者以外、子供および動物が近づかないようにしてください。
 - ▶ バッテリーを誰もいないところに放置しないでください。
 - ▶ 子供がバッテリーで遊ばないように安全を確保してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発したり、修理不能な損傷を受けたりするおそれがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。



- ▶ バッテリーを熱や火から保護してください。
- ▶ バッテリーを火の中に投げ込まないでください。

- ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で充電、使用および保管しないようにしてください、[図 20.4](#)。



- ▶ バッテリーを液体に浸さないようにしてください。

- ▶ バッテリーを小さな金属部品に近づけないでください。
- ▶ バッテリーを高圧にさらさないでください。
- ▶ バッテリーをマイクロ波にさらさないでください。
- ▶ バッテリーを化学物質や塩分から保護してください。

4.6 安全に関する条件

4.6.1 ロングリーチヘッジトリマー

ロングリーチヘッジトリマーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- ロングリーチヘッジトリマーが損傷していない。
- ロングリーチヘッジトリマーが清潔な状態になっている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- カuttingブレードが適切に取り付けられている。
- ロングリーチヘッジトリマー用に設計されたSTIHL純正アクセサリだけが装着されている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。

▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーが汚れた場合：ロングリーチヘッジトリマーを清掃します。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーを改造しないでください。
 - ▶ 操作部が正常に作動しない場合：ロングリーチヘッジトリマーを使用しないでください。
 - ▶ 必ず本ロングリーチヘッジトリマーモデル用に設計されたSTIHL純正アクセサリを取り付けてください。
 - ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に従って装着してください。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーの開口部には絶対に物を差し込まないでください。
 - ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。

- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

4.6.2 カuttingブレード

カuttingブレードは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- カuttingブレードが損傷していない。
- カuttingブレードが変形していない。
- カuttingブレードが自由に動く。
- カuttingブレードが適切に目立てされている。
- カuttingブレードにバリがない。

▲ 警告

- 安全な状態にないと、カuttingブレードの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ カuttingブレードは必ず損傷のない状態で使用してください。
 - ▶ カuttingブレードが適切に目立てされ、バリが取り除かれているか確認してください。
 - ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

4.6.3 バッテリー

バッテリーは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- バッテリーが損傷していない。
- バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
- バッテリーが正常に機能し、改造されていない。

▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、バッテリーが安全に機能しなくなる可能性があります。重傷を負う可能性があります。
 - ▶ 損傷がなく、正常に機能するバッテリーを使用して作業してください。
 - ▶ 損傷または故障しているバッテリーは充電しないでください。
 - ▶ バッテリーが汚れている場合：バッテリーを清掃してください。
 - ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、☑ 20.5。
 - ▶ バッテリーを改造しないでください。
 - ▶ バッテリーの開口部に物を差し込まないでください。
 - ▶ バッテリーの電気接点を金属製品と接続すること、ならびに短絡することは控えてください。
 - ▶ バッテリーを開けないでください。
 - ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。

- 損傷したバッテリーから液体が漏れることがあります。この液体が皮膚や目に触れると、皮膚や目が炎症を起こす可能性があります。
 - ▶ 液体に触れないようにしてください。
 - ▶ 皮膚に触れてしまった場合：大量の石鹸と水で接触した皮膚部分を洗い流してください。
 - ▶ 目に触れてしまった場合：大量の水で15分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 損傷や欠陥のあるバッテリーは、異臭を放ったり、煙が出たり、燃えたりすることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
 - ▶ バッテリーから異臭がする、または煙が出ている場合：バッテリーの使用を中断し、可燃物から遠ざけてください。
 - ▶ バッテリーが燃えている場合：消火器または水を使用して、バッテリーの消火を試みてください。

4.7 作業時

▲ 警告

- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。それによりつまずいたり、転倒したり、重傷を負ったりするおそれがあります。
 - ▶ 常に冷静に作業を計画してください。
 - ▶ 明るさと視界が不十分な場合：ロングリーチヘッジトリマーを使用しないでください。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーは一人で操作してください。
 - ▶ 障害物に注意してください。
 - ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。高所で作業を行う必要がある場合：昇降式の移動作業台または安定した足場を使用してください。
 - ▶ 疲労を感じたときは：休憩を取ってください。
- 肩よりも高い位置で作業を行うと、通常よりも早く疲労することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ 肩よりも高い位置での切断作業は、短時間に留めてください。
 - ▶ 休憩を取ってください。
- 作動中のカuttingブレードは、硬い物体に接触すると急停止することがあります。その結果生じる反動でロングリーチヘッジトリマーの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマーは両手で確実に保持してください。
 - ▶ 作業を開始する前に生垣を点検し、硬い障害物を取り除いてください。

- 作動するカッティングブレードでケガをすることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



- ▶ 作動中のカッティングブレードには触れないでください。
- ▶ カッティングブレードに障害物が挟まった場合：ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオフにし、バッテリーを取り外してから障害物を取り除いてください。

- 操作中にロングリーチヘッジトリマーの動作が変化するが、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。

- ▶ 作業を中止し、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店に連絡してください。

- ロングリーチヘッジトリマー使用中は、振動が生じることがあります。



- ▶ 手袋を着用してください。

- ▶ 休憩を取ってください。
- ▶ 血行障害の兆候が現れた場合：医師の診察を受けてください。

- トリガースイッチを放しても、カッティングブレードはしばらく作動し続けます。作動するカッティングブレードでケガをすることがあります。それにより重傷を負うことがあります。

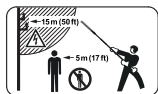
- ▶ カッティングブレードが完全に停止するまで待ちます。

- 緊急時は使用者がバニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。

- ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

▲ 危険

- 通電中の電線の近くで作業を行うと、カッティングブレードを誤って電線に接触させ、損傷させてしまうことがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。



- ▶ 通電中の電線から常に 15 m の間隔を維持してください。

4.8 運搬

4.8.1 ヘッジトリマー

▲ 警告

- ヘッジトリマーは運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを取り外します。

- ▶ カッティングブレードを完全に覆うようにブレード鞘を取り付けます。
- ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、ヘッジトリマーを固定ストラップまたはネットで固定します。

4.8.2 バッテリー

▲ 警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーは破損し、物的損害が生じるおそれがあります。

- ▶ 破損したバッテリーは絶対に輸送しないでください。

- バッテリーは輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。

- ▶ バッテリーは、内部で固定が可能なパッケージを使用して輸送してください。

- ▶ パッケージが動かないように固定してください。

4.9 保管

4.9.1 ロングリーチヘッジトリマー

▲ 警告

- 子供はロングリーチヘッジトリマーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負う可能性があります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ▶ カッティングブレードにブレード鞘を取り付けます。カッティングブレードを完全に覆ってください。

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーは子供の手の届かない場所に保管してください。

- 湿気によってロングリーチヘッジトリマーの電気接点や金属部品が腐食することがあります。ロングリーチヘッジトリマーが損傷するおそれがあります。




- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーは、清潔な乾いた状態で保管してください。

4.9.2 バッテリー

▲ 警告

- 子供は、バッテリーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負う可能性があります。
 - ▶ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーが修理不能な損傷を受けるおそれがあります。
 - ▶ バッテリーは清潔な乾燥した状態で保管してください。
 - ▶ バッテリーは密閉空間に保管してください。
 - ▶ バッテリーはロングリーチヘッジトリマーから分離して保管してください。
 - ▶ バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを40%~60%（緑色で点灯しているLEDが2つある状態）の充電レベルで保管してください。
 - ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください、 20.4。

4.10 清掃、整備、修理

▲ 警告

- 清掃、整備、または修理時にバッテリーを取り付けたままにしておくと、ロングリーチヘッジトリマーが偶発的に始動するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
 - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。
 - ▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。



- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、または尖った物体は、ロングリーチヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーを損傷させるおそれがあります。ロングリーチヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーを適切に清掃しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
 - ▶ ロングリーチヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- ロングリーチヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーに適切な方法で整備や修理

を行わないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。











- ▶ ロングリーチヘッジトリマーまたはバッテリーの整備や修理を試みないでください。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーまたはバッテリーに整備や修理が必要になったときは：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ▶ カッティングブレードは本取扱説明書に従って整備してください。
- 鋭利なカッティングブレードの清掃中や整備中にケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。




5 ヘッジトリマーの使用準備

5.1 ロングリーチヘッジトリマーの使用準備

毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

- ▶ 以下の部品が安全な状態にあることを確認してください：
 - ロングリーチヘッジトリマー、 4.6.1。
 - カッティングブレード、 4.6.2。
 - バッテリー、 4.6.3。
- ▶ バッテリーを点検してください、 11.2。
- ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを清掃してください、 16.1。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを組み立ててください、 8.1。
- ▶ ループハンドルを取り付けてください（HLA 135）、 8.2。
- ▶ カッティングブレードの角度を調整してください、 12.1。
- ▶ 肩掛けベルトを着用して調整してください、 12.2。
- ▶ 操作部をテストしてください、 11.1。
- ▶ この手順を踏むことができない場合：ロングリーチヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

5.2 Bluetooth®無線通信インターフェース搭載バッテリーとSTIHL コネクテッドアプリの接続


- ▶ 携帯端末機器の Bluetooth®無線インターフェースをオンにしてください。
- ▶ バッテリーの Bluetooth®無線インターフェースをオンにしてください、 7.1。
- ▶ アプリストアから STIHL コネクテッドアプリを携帯端末機器にダウンロードして、アカウントを作成してください。
- ▶ STIHL コネクテッドアプリを開いて、ログインしてください。
- ▶ バッテリーを STIHL コネクテッドアプリに追加して、画面の指示に従ってください。

連絡先やその他の情報は、<https://support.stihl.com> または STIHL コネクテッドアプリに記載されています。

STIHL コネクテッドアプリが利用できるかどうかは市場によって異なります。

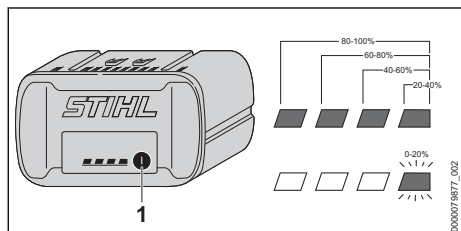
6 バッテリーの充電、LED

6.1 バッテリーの充電

充電時間は、バッテリーの温度や周囲温度などの様々な要因によって異なります。性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 20.5。実際の充電時間は、記載されている充電時間とは異なる場合があります。充電時間は www.stihl.com/charging-times に記載されています。

- ▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーを充電してください。

6.2 充電残量を表示する




- ▶ ボタン (1) を押します。LED が約 5 秒間緑色で点灯し、充電状態が表示されます。
- ▶ 右側の LED が緑色で点滅した場合は、バッテリーを充電してください。

6.3 バッテリーの LED


LED は、充電状態または故障を表示します。LED は、緑色または赤色で点灯/点滅します。

LED が緑色で点灯または点滅しているときは、充電状態が表示されています。

- ▶ LED が赤色で点灯または点滅：トラブルシューティング  19。
ヘッジトリマーまたはバッテリーが故障しています。


7 起動と停止 Bluetooth®無線通信インターフェース

7.1 Bluetooth®無線通信インターフェースのオン

- ▶ バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっている場合：プッシュボタンを押して、 マークの隣にある LED 「BLUETOOTH®」が約 3 秒間青色で点灯するまで押し続けてください。

Bluetooth®無線通信インターフェースがオンになります。

7.2 Bluetooth®無線通信インターフェースのオフ

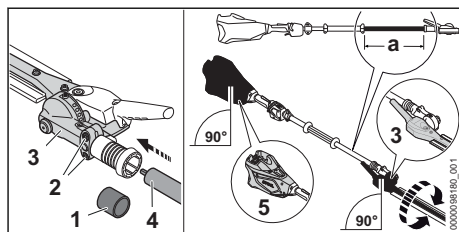
- ▶ バッテリーに Bluetooth®無線通信インターフェースが備わっている場合：プッシュボタンを押して、 マークの隣にある LED 「BLUETOOTH®」が青色で 6 回点滅するまで押し続けてください。

Bluetooth®無線通信インターフェースがオフになります。

8 ヘッジトリマーの組み立て

8.1 ロングリーチヘッジトリマーの組み立て

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。



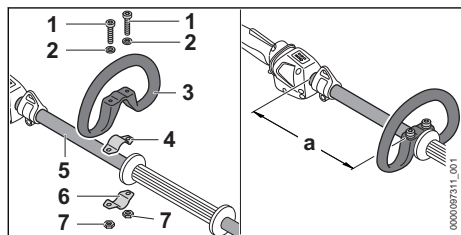
- ▶ プロテクトキャップ (1) を取り外します。
- ▶ スクリュー (2) を取り外します。

- ▶ トランスミッション (3) を押してシャフト (4) に取り付けます。その際は、次の条件を満たしてください。
 - HLA 135 の場合 : a = 約 53 cm
 - HLA 135 K の場合 : a = 約 38 cm
- ▶ ハウジング (5) とトランスミッション (3) を図示されている位置に合わせてます。
- ▶ スクリュー (2) をしっかりと締め付けます。

ロングリーチヘッジトリマーを再び分解する必要はありません。

8.2 ループハンドルの取り付け (HLA 135)

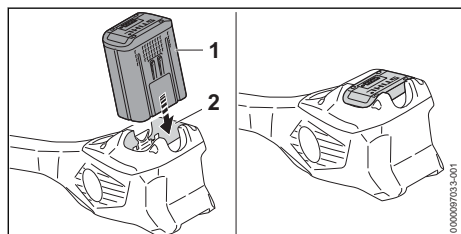
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ クランプ (4) をループハンドル (3) に取り付けます。
- ▶ ループハンドル (3) をクランプ (4) と共にシャフト (5) に載せます。
- ▶ ワッシャー (2) をスクリュー (1) に取り付けます。
- ▶ クランプ (6) をシャフト (5) に当てます。
- ▶ スクリュー (1) をループハンドル (3) とクランプ (4 と 6) の穴に差し込みます。
- ▶ 距離 (a) が 20 cm になるまでループハンドル (3) をスライドさせます。
- ▶ ナット (7) を取り付け、確実に締め付けます。

9 バッテリーの取り外しと取り付け

9.1 バッテリーの挿入

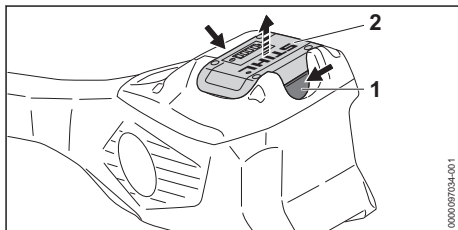


- ▶ バッテリー (1) をリミットストップの位置までバッテリーコンパートメント (2) に差し込みます。

カチッという音がしてバッテリー (1) が定位にはまり、ロックされます。

9.2 バッテリーの取り外し

- ▶ ヘッジトリマーを平坦な面に置きます。

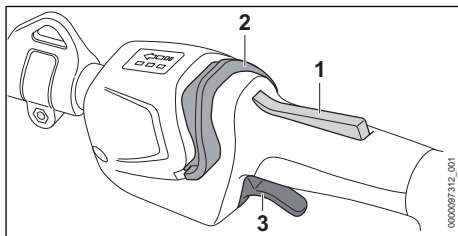


- ▶ 両方のロックングレバー (1) を押します。ロックが解除され、バッテリー (2) の取り外しが可能になります。

10 ヘッジトリマーのスイッチオン/オフ

10.1 ロングリーチヘッジトリマーの電源を入れる

- ▶ 片方の手でコントロールハンドルを握り、ロングリーチヘッジトリマーを保持します - コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ もう一方の手でループハンドルまたはハンドルホースを握り、ロングリーチヘッジトリマーをしっかりと保持します - ループハンドルまたはハンドルホースに親指をかけてください。



- ▶ トリガーロックアウト (1) を指で押したままにします。
- ▶ 親指でリリーススライド (2) をループハンドルの方向に押したまま保持します。LED が点灯し、最後に使用した出力レベルが表示されます。
- ▶ 人差し指でトリガー (3) を引き、そのまま保持します。ロングリーチヘッジトリマーが加速し、カッティングブレードが作動します。

ロングリーチ・ヘッジトリマーのスイッチは、まずリリーススライド (2) を押し、5 秒以内 (LED が点滅している間) にトリガーロックアウト (1) を押すことでもオンにできます。これでトリガ

ー(3)のロックが解除され、ロングリーチ・ヘッジトリマーの使用が可能になります。

電源をオンしてからトリガー(3)とトリガーロックアウト(1)を放すと、LEDが5秒間点滅します。LEDの点滅中は、リリーススライド(2)を操作する必要なしにロングリーチヘッジトリマーの電源を再びオンにすることができます。

10.2 ロングリーチヘッジトリマーの電源を切る

- ▶ トリガーとトリガーロックアウトを放します。
 - ▶ カuttingブレードが完全に停止するまで待ちます。
 - ▶ Cuttingブレードが作動し続ける場合、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ロングリーチヘッジトリマーが故障しています。

11 ヘッジトリマーとバッテリーのテスト

11.1 操作部の点検

トリガーロックアウトとトリガー

- ▶ バッテリーを取り外します。
 - ▶ トリガーロックアウトを押さずにトリガーを握ってみます。
 - ▶ トリガーを引くことができる場合：ロングリーチヘッジトリマーを使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
 - ▶ トリガーロックアウトが故障しています。
 - ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
 - ▶ トリガーを握り、放します。
 - ▶ トリガーまたはトリガーロックアウトが円滑に動かないか、アイドル位置に戻らない場合、ロングリーチヘッジトリマーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
- トリガーまたはトリガーロックアウトが故障しています。

ロングリーチヘッジトリマーの電源を入れる

- ▶ バッテリーを挿入します。
 - ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
 - ▶ 親指でリリーススライドをCuttingブレードの方向に押したまま保持します。
 - ▶ トリガーを握ります。
- Cuttingブレードが作動します。
- ▶ 3個のLEDが赤色で点滅した場合：バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にお問い合わせください。

ロングリーチヘッジトリマーが故障していません。

- ▶ トリガーを放します。
 - ▶ Cuttingブレードが完全に停止します。
 - ▶ Cuttingブレードが作動し続ける場合、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- ロングリーチヘッジトリマーが故障していません。

11.2 バッテリーのテスト

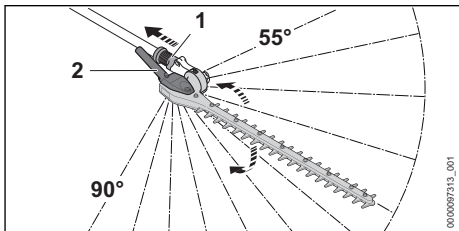
- ▶ バッテリーのボタンを押します。
 - ▶ LEDが点灯または点滅します。
 - ▶ LEDが点灯または点滅しない場合：バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
- バッテリーが故障しています。

12 ヘッジトリマーの操作

12.1 Cuttingブレードの角度調整

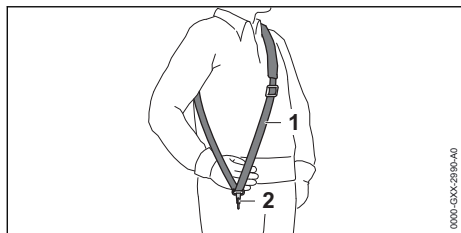
Cuttingブレードの角度は、用途と使用者の身長や手の長さに合わせて、上方で4段階の位置、下方で7段階の位置に調整することができます。

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ スライディングスリーブ(1)を引き戻し、そのまま保持します。
 - ▶ スイベルハンドル(2)を保持し、Cuttingブレードを適切な角度に合わせます。
 - ▶ スライディングスリーブ(1)を放します。
 - ▶ スイベルハンドル(2)を前後に動かし、スライディングスリーブ(1)をかみ合わせます。
- スライディングスリーブ(1)がハウジングに当たります。Cuttingブレードの角度調整が完了します。
- ▶ スイベルハンドル(2)が固定されているか確認します。

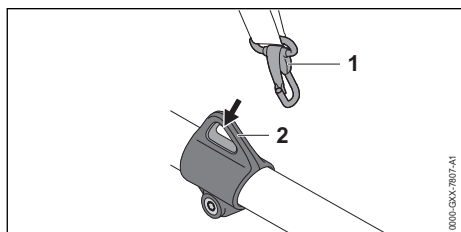
12.2 肩掛けベルトの取り付けと調整



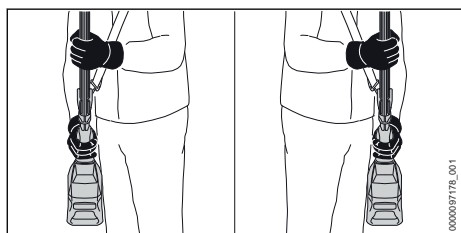
- ▶ 肩掛けベルト (1) を着用します。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るように肩掛けベルト (1) の長さを調整します。

承認されている他のキャリングシステムは、本書に記載されています、☐ 21。

12.3 ロングリーチヘッジトリマーの保持と操作

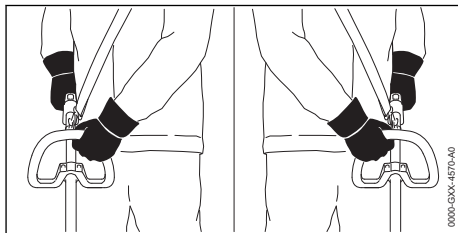


- ▶ 吊り下げ用リング (2) をカラбина (1) に接続します。



- ▶ 片手でコントロールハンドルを持ってロングリーチヘッジトリマーを保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 反対側の手でハンドルホースを持ってロングリーチヘッジトリマーを確実に保持します。ハンドルホースに親指をかけてください。

HLA 135

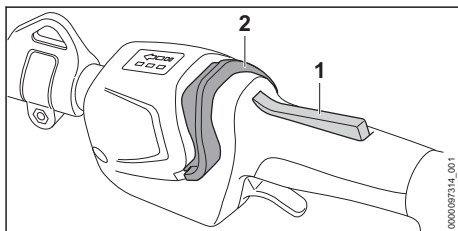


- ▶ 片手でコントロールハンドルを持ってロングリーチヘッジトリマーを保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 反対側の手でループハンドルを持ってロングリーチヘッジトリマーを保持します。ループハンドルに親指をかけてください。

12.4 出力レベルの設定

3段階の出力レベルから用途に応じたレベルに設定することができます。選択された出力レベルはLEDで表示されます。出力レベルを上げると、カッティングブレードの作動速度が増します。

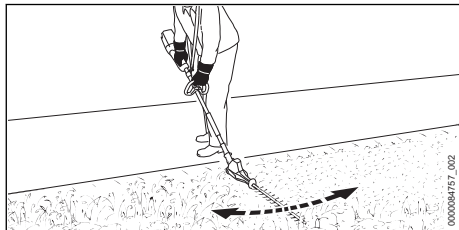
選択した出力レベルは、バッテリーの駆動時間に影響を及ぼします。出力レベルを落とすと、駆動時間は長くなります。



- ▶ トリガークロックアウト (1) を押し、そのまま保持します。
- ▶ 親指でリリーススライド (2) をカッティングブレードの方向に押したまま保持します。LEDが点灯し、選択されている出力レベルが表示されます。
- ▶ リリーススライド (2) を前方に押し、その位置でしばらく保持してから放して跳ね戻します。この操作で次の出力レベルが選択されます。3番目の出力レベルに達した後は、最初の出力レベルに戻ります。
- ▶ リリーススライド (2) を前方に押し、跳ね戻す操作を必要な回数だけ繰り返し、希望する出力レベルを選択します。

12.5 切断作業

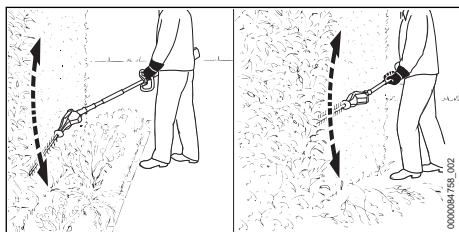
地面に近い高さにおける切断 (HLA 135)



- ▶ カuttingブレードを必要な角度に設定します。
- ▶ ヘッジトリマーを左右均等に動かします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。
- ▶ 切断性能が低下した場合: Cuttingブレードを目立てしてください。

垂直 (生垣側面) の切断

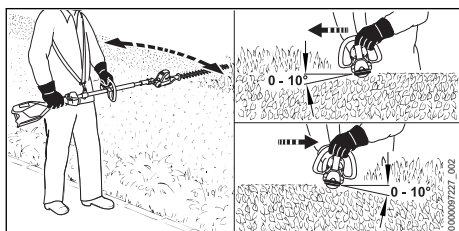
- ▶ 太い枝を剪定ばさみまたはチェンソーで切断します。



- ▶ 生垣から一定の距離を離れて切断する必要がある場合: Cuttingブレードを必要な角度に設定します。
- ▶ 生垣の片側に沿ってヘッジトリマーを弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。
- ▶ 生垣の反対側を同様の方法で切断します。
- ▶ 切断性能が低下した場合: Cuttingブレードを目立てしてください。

水平 (生垣上面) の切断

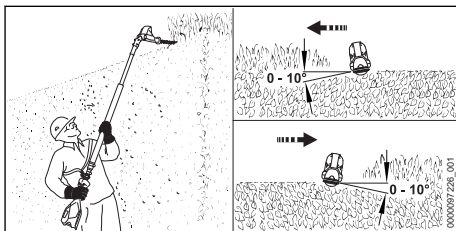
- ▶ 太い枝を剪定ばさみまたはチェンソーで切断します。



- ▶ ヘッジトリマーは、Cuttingブレードが生垣の上面に対して $0^\circ \sim 10^\circ$ の角度になるよう保持します。
- ▶ ヘッジトリマーを水平に弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 切断性能が低下した場合: Cuttingブレードを目立てしてください。

頭上の切断

- ▶ 太い枝を剪定ばさみまたはチェンソーで切断します。



- ▶ Cuttingブレードを必要な角度に設定します。
- ▶ ヘッジトリマーは、Cuttingブレードが生垣の上面に対して $0^\circ \sim 10^\circ$ の角度になるよう保持します。
- ▶ ヘッジトリマーを水平に弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 切断性能が低下した場合: Cuttingブレードを目立てしてください。

性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 20.5。

13 作業後

13.1 作業後

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ヘッジトリマーが濡れている場合: ヘッジトリマーを乾かしてください。
- ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合: バッテリーを乾かしてください、 20.5。
- ▶ ヘッジトリマーを清掃してください。
- ▶ Cuttingブレードを清掃してください。
- ▶ ブレード鞘をCuttingブレードの上にスライドさせて、Cuttingブレードが完全に覆われるようにしてください。
- ▶ バッテリーを清掃してください。

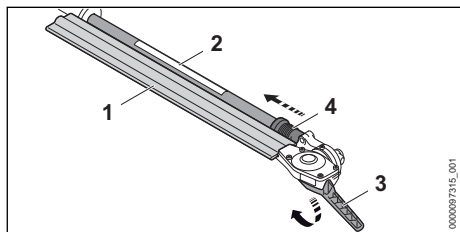
14 運搬

14.1 ロングリーチヘッジトリマーの運搬

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。

- ▶ カuttingブレードにブレード鞘を取り付けます。Cuttingブレードを完全に覆ってください。

ロングリーチヘッジトリマーの運搬



- ▶ スライディングスリーブ (4) を引き戻して保持します。
- ▶ スイベルハンドル (3) を保持し、Cuttingブレード (1) を下げます。Cuttingブレード (1) がシャフト (2) と重なり合います。
- ▶ スライディングスリーブ (4) を放します。スライディングスリーブ (4) がはまり、ハウジングに収まります。Cuttingブレード (1) が持ち運び位置になります。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーは、Cuttingブレード (1) を後ろ側にし、片手でシャフトを持って運搬してください。

ロングリーチヘッジトリマーの車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう、ヘッジトリマーを固定してください。

14.2 バッテリーの運搬

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにし、バッテリーを外します。
- ▶ バッテリーが安全な状態にあるか確認します。
- ▶ バッテリーはパッケージの内部で動かないように梱包してください。
- ▶ パッケージが動かないよう固定してください。

バッテリーには危険物輸送規則が適用されます。本バッテリーは UN 3480 (リチウムイオンバッテリー) として分類されており、国連試験基準マニユアル、パート III、サブセクション 38.3 に従って試験済みです。

輸送時の規制については、右記を参照してください：www.stihl.com/safety-data-sheets。

15 保管


15.1 ヘッジトリマーの保管

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにし、バッテリーを外します。
- ▶ Cuttingブレードを完全に覆うようにブレード鞘を取り付けます。

- ▶ ヘッジトリマーを保管するときには以下の点を遵守してください：
 - ヘッジトリマーを子供の手の届かない場所に保管する。
 - ヘッジトリマーを清潔かつ乾いた状態に保つ。

15.2 バッテリーの保管

STIHL では、バッテリーを 40% ~ 60% (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。

- ▶ バッテリーは以下の条件が満たされるように保管してください：
 - バッテリーが子供の手の届かないところにあること。
 - バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
 - バッテリーが密閉空間にあること。
 - バッテリーがヘッジトリマーから分離されていること。
 - バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを 40% ~ 60% (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管してください。
 - バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管していない、 20.4。

注記

- バッテリーをこの取扱説明書の記載通りに保管しないと、バッテリーが過放電して損傷し、修復不可能になる可能性があります。
 - ▶ 放電したバッテリーは、保管する前に充電してください。STIHL では、バッテリーを 40% ~ 60% (緑色で点灯している LED が 2 つある状態) の充電レベルで保管することをお勧めしています。
 - ▶ バッテリーはロングリーチヘッジトリマーから分離して保管してください。

16 清掃

16.1 ロングリーチヘッジトリマーの清掃

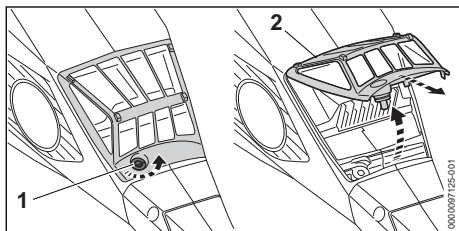
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で掃除します。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントから異物を取り除き、湿らせた布でバッテリーコンパートメントを掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を塗装用のはけが柔らかなブラシで掃除します。

16.2 カuttingブレードの清掃

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにし、バッテリーを外します。
- ▶ ブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けます。
- ▶ バッテリーを取り付けます。
- ▶ ヘッジトリマーを5秒間作動させます。Cuttingブレードが作動します。STIHL 樹脂溶剤が均等に塗布されます。

16.3 エアフィルターの清掃

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ エアフィルター(2)周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ エアフィルター(2)が取り外し可能な状態になるまでスクリュー(1)を反時計回りにまわします。
- ▶ エアフィルター(2)を上方向にまわし、引き外します。
- ▶ エアフィルター(2)を流水ですすぎ、外側から粗いごみを取り除きます。
- ▶ エアフィルター(2)が損傷している場合：新品のエアフィルター(2)を取り付けてください。
- ▶ エアフィルター(2)を自然乾燥させます。
- ▶ エアフィルター(2)をハウジングに取り付け、押し下げます。
エアフィルター(2)は、全面でハウジングと面一になります。
- ▶ スクリュー(1)を差し込み、しっかりと締め付けます。

16.4 バッテリーの清掃

- ▶ バッテリーを、湿らせた布で拭きます。

17 整備

17.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

25 運転時間毎

- ▶ ギアボックスに注油します。

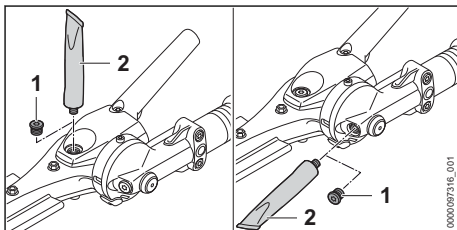
50 運転時間毎

- ▶ エアフィルターを掃除する。

毎年

- ▶ STIHL サービス店でロングリーチヘッジトリマーの点検を受けてください。

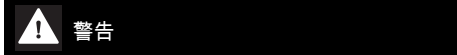
17.2 ギアボックスの潤滑



- ▶ スクリュープラグ(1)を取り外します。
- ▶ スクリュープラグ(1)からグリースが見えない場合、
 - ▶ 「STIHL ゲトリーベフェット」のチューブにねじ込む(2)。
 - ▶ 5gのSTIHL ギアグリースをギアハウジングに注入します。
 - ▶ 「STIHL ゲトリーベフェット」(2)のチューブを緩めます。
 - ▶ スクリュープラグ(1)をねじ込み、締め付けます。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源をオンにし、1分間待ちます。
STIHL ギアグリースが均等に行き渡ります。

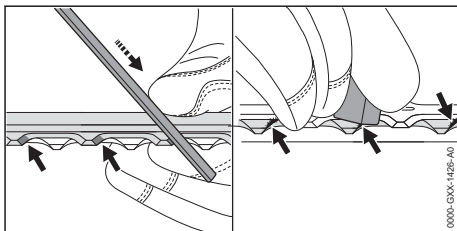
17.3 Cuttingブレードの目立て

STIHL 社では、Cuttingブレードの目立てをSTIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。



警告

- Cuttingブレードの歯は非常に鋭利です。それにより負傷するおそれがあります。
 - ▶ 耐切創手袋を着用してください。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーの電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ STIHL 平ヤスリを使用し、上側ブレードの各刃先を目立てします。ヤスリは前方に押しただきだけ研磨します。所定の目立て角度を維持してください、 20.2。

- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを裏返しにします。
- ▶ 残りの刃先を目立てします。
- ▶ 下側から各刃先のバリを取ります。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを裏返しにします。
- ▶ 残りの刃先のバリを取ります。
- ▶ 濡らせた布で切削粉を取り除きます。
- ▶ カuttingブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けます。
- ▶ ロングリーチヘッジトリマーを 5 秒間作動させます。
- ▶ カuttingブレードが作動します。STIHL 樹脂溶剤が均等に行き渡ります。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

18 修理

18.1 ヘッジトリマーとバッテリーの修理

ユーザーがヘッジトリマー、カuttingブレード、またはバッテリーを修理することはできません。

- ▶ ヘッジトリマーまたはカuttingブレードが損傷した場合：ヘッジトリマーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
- ▶ バッテリーに不具合が生じるか、損傷した場合：バッテリーを交換してください。

19 トラブルシューティング

19.1 ロングリーチヘッジトリマーまたはバッテリーのトラブルシューティング

障害	バッテリーの LED	原因	対策
スイッチをオンにした際にロングリーチヘッジトリマーが起動しない。	1つのLEDが緑色で点滅する。	バッテリーの充電レベルが低すぎます。	▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500 の取扱説明書の記載通りにバッテリーを充電してください。
	1つのLEDが赤色に点灯する。	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーを冷ますが温めてください。
	3つのLEDが赤色に点滅する。	ロングリーチヘッジトリマー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。 ▶ ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合は：ロングリーチヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
		カuttingブレードが動きにくくなっています。	▶ カuttingブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合は：ロングリーチヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
	3つのLEDが赤色に点灯する。	ロングリーチヘッジトリマーの温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ ロングリーチヘッジトリマーを冷ましてください。
4つのLEDが赤色で点滅する。	バッテリー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き4つのLEDが赤色で点滅する場合は：バッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。	

障害	バッテリーのLED	原因	対策
		ロングリーチヘッジトリマーとバッテリー間の電気接続が遮断されています。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。
		ロングリーチヘッジトリマーまたはバッテリーが濡れています。	▶ ヘッジトリマーまたはバッテリーを乾かしてください、☑ 20.5。
ロングリーチヘッジトリマーが動作中に停止する。	3つのLEDが赤色に点灯する。	ロングリーチヘッジトリマーの温度が高すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ ロングリーチヘッジトリマーを冷ましてください。
		電気的な障害があります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ ロングリーチヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。
ロングリーチヘッジトリマーの動作時間が短すぎる。		バッテリーがフル充電されていません。	▶ 充電器 STIHL AL 101、301、301-4、500の取扱説明書の記載通りにバッテリーをフル充電してください。
		バッテリーの耐用年数を超過しています。	▶ バッテリーを交換してください。
Cマークが付いたバッテリーをSTIHLコネクテッドアプリで検出することができない。		バッテリーまたは携帯端末機器のBluetooth®無線インターフェースがオフになっています。	▶ バッテリーおよび携帯端末機器のBluetooth®無線インターフェースをオンにしてください。
		バッテリーと携帯端末機器の間隔が長すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 間隔を短くしてください、☑ 20.3。 ▶ 引き続きバッテリーをSTIHLコネクテッドアプリで検出することができない場合：STIHL サービス店までご来店ください。

19.2 製品サポートと使用に関する助言

製品サポートと使用に関する助言は、STIHL サービス店が提供致します。

お問い合わせや他の情報については、<https://support.stihl.com> または www.stihl.com をご覧ください。

20 技術仕様

20.1 STIHL HLA 135、HLA 135 K ロングリーチヘッジトリマー

HLA 135

- 許容されるバッテリー：
 - STIHL AP
 - STIHL AR
- バッテリーを除く重量：5.6 kg
- 電気的な保護等級：IPX4 (全方向からの水の飛沫から保護)

HLA 135 K

- 許容されるバッテリー：
 - STIHL AP
 - STIHL AR
- バッテリーを除く重量：5.2 kg
- 電気的な保護等級：IPX4 (全方向からの水の飛沫から保護)

バッテリー寿命については、www.stihl.com/battery-life をご覧ください。

20.2 カuttingブレード


HLA 135

- 歯間スペース：34 mm
- ブレード長：600 mm
- 目立て角度：45°

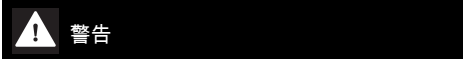
HLA 135 K

- 歯間スペース：34 mm
- ブレード長：600 mm
- 目立て角度：45°

20.3 バッテリー STIHL AP

- バッテリー技術: リチウムイオン
- 電圧: 36 V
- 容量 (Ah): 銘板参照
- エネルギー含有量 (Wh): 銘板参照
- 重量 (kg): 銘板参照
- Bluetooth®無線通信インターフェース ( マークが付いたバッテリーのみ):
 - データ接続: Bluetooth® 5.1. 携帯端末機器は Bluetooth® Low Energy 5.0 と互換性を有し、Generic Access Profile (GAP) をサポートしている必要があります。
 - 周波数帯: ISM バンド 2.4 GHz
 - 最大放射送信電力: 1 mW
 - 信号の到達距離: 約 10 m。信号強度は、周囲条件と携帯端末機器によって異なります。到達距離は、使用する受信機を含む外部条件によって大きく変化することがあります。使用場所が密閉スペースの場合や金属製バリア (壁面、棚、箱など) を通した通信では、到達距離が大幅に短縮されることがあります。
 - 携帯端末機器の OS に関する要件: Android または iOS (現行バージョン以降)

20.4 温度制限



警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発するおそれがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
 - ▶ バッテリーを -20 °C 未満または +50 °C 超過の環境下で充電しないでください。
 - ▶ ヘッジトリマーまたはバッテリーを -20 °C 未満または +50 °C 超過の環境下で使用しないでください。
 - ▶ ヘッジトリマーまたはバッテリーを -20 °C 未満または +70 °C 超過の環境下で使用しないでください。

20.5 推奨温度範囲

ヘッジトリマーおよびバッテリーの性能を最適に保つために、以下の温度範囲を守ってください:

- 充電: +5 °C ~ +40 °C
- 使用: -10 °C ~ +40 °C
- 保管: -20 °C ~ +50 °C

バッテリーを推奨温度範囲外で充電したり、使用したり、保管したりすると、性能が低下することがあります。

バッテリーが濡れていたり、湿ったりしている場合は、+15 °C ~ +50 °C、並びに湿度 70 % 未満で 48 時間以上乾燥させてください。湿度が高ければ乾燥時間が長くなる場合があります。

20.6 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s² です。

HLA 135

STIHL 社では、イヤーマフの着用をお勧めしています。

- ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA}: 85 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA}: 96 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}, ハンドルホース付き
 - コントロールハンドル: 3.3 m/s²
 - ハンドルホース: 2.5 m/s²
- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}, ループハンドル付き
 - コントロールハンドル: 2.5 m/s²
 - ループハンドル: 3.7 m/s²

HLA 135 K

STIHL 社では、イヤーマフの着用をお勧めしています。

- ISO 22868 に準拠して測定した音圧レベル L_{pA}: 85 dB(A)
- ISO 22868 に準拠して測定した音響出力レベル L_{WA}: 96 dB(A)
- ISO 22867 に準拠して測定した振動レベル a_{hv}
 - コントロールハンドル: 2.7 m/s²
 - ハンドルホース: 2.3 m/s²

上記の振動値は標準化された試験方法に従って測定されており、電動パワーツールを比較するための基準として使用することができます。用途の種類によっては、実際に発生する振動レベルは上記の値とは異なる場合があります。上記の振動レベルは、振動応力を当初に推測するために使用することができます。実際に受ける振動応力は、推定する必要があります。推定時には、電動パワーツールのスイッチがオフの時間や、スイッチがオンでも無負荷で運転されている時間も考慮に入れることがあります。

事業者向けの振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関しては、www.stihl.com/vib をご覧ください。

20.7 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、www.stihl.com/reach をご覧ください。

21 キャリングシステムの組み合わせ

21.1 キャリングシステムの組み合わせ

ロングリーチヘッジトリマーは必ずキャリングシステムと共に使用してください。承認されているキャリングシステムは、本取扱説明書に記載されています：



肩掛けベルト



フルハーネス



サポートクッション付き STIHL AR バッテリー



バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属)



バッテリーベルト (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属)



キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属)



RTS 背負い式キャリングシステム

22 スペアパーツおよびアクセサリ

22.1 スペアパーツおよびアクセサリ

STIHL これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリを使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可していません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

23 廃棄

23.1 ヘッジトリマーとバッテリーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

24 EC 適合証明書

24.1 ロングリーチヘッジトリマー STIHL HLA 135、HLA 135 K

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

- モデル: バッテリーロングリーチヘッジトリマー
- 製造ブランド: STIHL
- タイプ: HLA 135、HLA 135 K
- シリアル番号: HA04

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします: EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、EN 62841-4-2。

指令 2000/14/EC、付録 V に準拠して適用された適合性評価方法。

- 音響パワーレベル測定値: 96 dB(A)
- 音響パワーレベル保証値: 98 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、ロングリーチヘッジトリマーに表示されています。

2022年8月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

25 UKCA 適合宣言

25.1 ロングリーチヘッジトリマー STIHL HLA 135、HLA 135 K

**UK
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstraße 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

– モデル: バッテリーロングリーチヘッジトリマー

– 製造ブランド: STIHL

– タイプ: HLA 135、HLA 135 K

– シリアル番号: HA04

英国規則 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 および Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします: EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、EN 62841-4-2。

英国規則 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 Schedule 8 に準拠して適用された適合性評価方法。

– 音響パワーレベル測定値: 96 dB(A)

– 音響パワーレベル保証値: 98 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、ロングリーチヘッジトリマーに表示されています。

2022年8月1日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

26 パワーツールの安全上の一般的な警告事項

26.1 はじめに

この章は、手持型モーター駆動電動工具の欧州標準 IEC 62841 に規定されている、策定済みの一般的な安全上の注意事項を複製したものです。

STIHL 社にはこうした注意事項を発行する義務があります。

「電気的な安全」に記載されている、感電を防ぐための安全上の注意事項と警告は、STIHL バッテリーツールには適用されません。

警告

- この電動パワーツールに付属する安全上の注意事項、取扱説明書、図、技術仕様にはすべて目を通してください。安全に関する警告事項や指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因になることがあります。後日参照するために、警告と指示が記載された書類をすべて保管してください。

警告中の「電動パワーツール」という語は、主電源により駆動される(コード接続)パワーツールまたはバッテリーにより駆動される(コードレス)パワーツールを指します。

26.2 作業エリアの安全

- a) 作業エリアは清潔な状態で維持し、常に十分な明るさを確保してください。雑然としているか、明るさが十分でない作業エリアは、事故を招きます。
- b) 可燃性の液体、ガス、または粉塵が存在する、爆発が起きやすい環境下では、電動パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールは火花を発生し、粉塵やガスが引火することがあります。
- c) 電動パワーツールの使用時は、子供や第三者を近づけないでください。気が散って、電動パワーツールを制御できなくなることがあります。

26.3 電気的な安全

- a) 電動パワーツールの電源プラグは、コンセントと適合している必要があります。電源プラグにはいかなる改造も行わないでください。

- 接地された電動パワーツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグを適合するコンセントに使用すると、感電の危険が低減されます。
- b) パイプ、ヒーター、オープン、冷蔵庫等の接地された面に身体の一部を接触させないでください。身体が接地されると、感電が生じる危険が増します。
 - c) 電動パワーツールは、雨や水分にさらさないでください。電動パワーツールに水が入ると、感電の危険が増します。
 - d) 接続ケーブルを他の目的に使用しないでください。絶対に電源ケーブルを持って電動パワーツールを運搬したり、引っ張ったりしないでください。同様に、絶対に電源ケーブルを引いてプラグを外さないでください。電源ケーブルは高温、油分、鋭利な端部、可動部に近付けないでください。電源ケーブルが損傷するか、絡まると、感電の危険が増します。
 - e) 電動パワーツールを屋外で使用するときは、屋外用の延長ケーブルを使用してください。屋外用の延長ケーブルを使用すると、感電の危険が低くなります。
 - f) やむを得ず電動パワーツールを湿った場所で使用しなければならない場合は、残留電流装置 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が低くなります。

26.4 作業者の安全

- a) 電動パワーツールを操作するときは、常に気を抜かず、作業に集中し、常識を働かせてください。疲れているときや、薬物、アルコール、または薬剤の影響下にあるときは、パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールの操作中は、一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- b) 作業者用保護装備を使用してください。必ず目のプロテクターを着用してください。使用する電動パワーツールと各作業に適した保護装備 (防塵マスク、耐滑安全靴、硬質ヘルメット、イヤープロテクター等) は、作業者が負傷する危険を低減します。
- c) 機械が偶発的に始動しないよう配慮してください。電動パワーツールのスイッチがオフになっているか確認してから主電源に接続したり、持ち上げたり、運搬したりしてください。オン/オフスイッチに指を載せるか、電動パワーツールのスイッチをオンにしたまま電動パワーツールを運搬すると、事故が起きるおそれがあります。
- d) 設定用の工具やレンチを取り外してから電動パワーツールの電源を入れてください。工具

やスパナを電動パワーツールの回転部品に取り付けたままにしておくと、負傷事故が起きるおそれがあります。

- e) 不自然な姿勢は避けてください。常に適切な足場とバランスを維持してください。想定外の状況下で電動パワーツールを制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆったりとした衣服や装身具は身に付けしないでください。髪の毛と衣服を可動部に近付けないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部に絡まるおそれがあります。
- g) 集塵機を設置できる場合は、適切に接続し、使用してください。集塵機を使用すると、粉塵に関連する危険を低減することができます。
- h) 電動パワーツールに完全に慣れていても、油断したり、安全規則を無視したりしないでください。不注意によって一瞬で重傷を負うおそれがあります。

26.5 電動パワーツールの使用と保守

- a) 電動パワーツールに無理な力を加えないでください。用途に適した電動パワーツールを使用してください。適切な電動パワーツールを使用すると、設計上の速度で、より効率的かつ安全に作業が遂行されます。
- b) スイッチが故障している場合は、電動パワーツールを使用しないでください。スイッチで電源を制御できない電動パワーツールは危険であり、修理する必要があります。
- c) 電源からプラグを抜くか、本体からバッテリーパックを取り外してから、パワーツールの調整、アクセサリーの交換、またはパワーツールの保管を行ってください。こうした安全予防措置を講じると、電動パワーツールが偶発的に始動する危険が低減されます。
- d) 使用していない電動パワーツールは、子供の手の届かない場所に保管してください。操作に慣れていないか、取扱説明書や助言書をお読みいただいているいない作業者には、電動パワーツールを使用させないでください。電動パワーツールは、訓練を受けていない作業者が使用すると危険です。
- e) 電動パワーツールとアクセサリーは、保守をしながら使用してください。可動部品のずれや固着、部品の損傷、電動パワーツールの機能に影響を及ぼすおそれがある他の不具合がないか点検してください。損傷している場合は、電動パワーツールを修理してから使用してください。事故の多くは、保守が不適切な電動パワーツールによって引き起こされています。

- f) **カッティングアタッチメントは、常に目立てをした清潔な状態に保ってください。**刃先を目立てし、慎重に保守したカッティングアタッチメントを使用すると、作動しなくなる可能性は低くなり、制御が容易になります。
- g) **電動パワーツール、アクセサリ、工具ビット等は、作業条件と実施する作業内容を考慮しながら、これらの指示に従って使用してください。**電動パワーツールを本来の用途以外に使用すると、危険な状況が生じるおそれがあります。
- h) **ハンドルやグリップの表面は、オイルやグリースが付着していない、清潔で乾いた状態に保ってください。**ハンドルやグリップの表面が滑りやすくと、電動パワーツールを適切に操作できなくなり、想定外の状況が生じたときに制御を失います。

26.6 バッテリーツールの使用と保守

- a) **バッテリーを充電するときは、必ずメーカーが指定した充電器を使用してください。**特定の種類のバッテリーパックに適した充電器を他のバッテリーパックに使用すると、火災の危険が生じることがあります。
- b) **パワーツールは、必ず専用バッテリーパックと共に使用してください。**他のバッテリーパックを使用すると、ケガおよび火災の危険が生じることがあります。
- c) **バッテリーパックを使用していないときは、端子どうしを接続する可能性のあるペーパークリップ、硬貨、鍵、くぎ、ねじ等の小さな金属製の物体に近付けないでください。**バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因になることがあります。
- d) **不適切な方法で使用すると、バッテリー液が漏れ出すことがあります。**バッテリー液には触れないでください。誤って触れた場合は、水ですすいでください。バッテリー液が目に入ったときは、さらに医師の診断を受けてください。バッテリーから漏れ出した液は、炎症や火傷の原因になることがあります。
- e) **損傷したり、改造したりしたバッテリーパックやパワーツールは使用しないでください。**損傷したバッテリーや改造したバッテリーは想定外の反応を示し、火災、爆発、負傷事故を引き起こすおそれがあります。
- f) **バッテリーパックやパワーツールを火気や高温にさらさないでください。**火気または 130 °C (265 °F) 以上の温度によって爆発が生じるおそれがあります。
- g) **充電に関する指示をすべて遵守し、バッテリーパックやパワーツールは、取扱説明書に記載されている温度範囲を超える環境下では充**

電しないでください。不適切な方法で充電するか、規定の温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷し、火災が生じる危険が増すことがあります。

26.7 修理点検

- a) **パワーツールの修理は認可を受けた修理技術者に依頼し、同一交換部品のみを使用してください。**これにより、パワーツールの安全性を維持することができます。
- b) **損傷したバッテリーは、絶対に修理しないでください。**バッテリーパックの修理は、必ずメーカーまたは認定を受けたサービス店に依頼してください。

26.8 ヘッジトリマーの安全上の警告事項

ヘッジトリマーの一般的な安全上の警告事項

- a) **ブレードには身体の一部を近付けないでください。**ブレードを作動させたまま切断した物を取り除いたり、切断する物を保持したりしないでください。ヘッジトリマーのスイッチを切った後も、ブレードは作動し続けます。ヘッジトリマー使用中の一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- b) **ヘッジトリマーは、ブレードが停止した状態でハンドルを持って運搬してください。**スイッチを押さないよう注意してください。ヘッジトリマーを適切な方法で運搬すると、機械が偶発的に始動してブレードで負傷する危険が低減されます。
- c) **ヘッジトリマーの運搬時や保管時は、必ずブレードガード(鞘)を取り付けてください。**ヘッジトリマーを適切な方法で取り扱うと、カッティングブレードによって負傷する危険が低減されます。
- d) **挟まった切りくずを取り除いたり、機械の整備を行ったりする前に、電源スイッチがすべてオフになり、バッテリーが取り外されているか、バッテリーのスイッチがオフになっているか確認してください。**挟まった切りくずを取り除く際にヘッジトリマーが偶発的に作動すると、重傷を負うおそれがあります。
- e) **カッティングブレードが隠れた電線に接触することがあるため、ヘッジトリマーは絶縁されているハンドルのみで保持してください。**通電中のラインに接触すると、金属製の機械部品も通電した状態となり、感電するおそれがあります。
- f) **電線類は切断エリアから離れた位置に移動してください。**生垣や低木内にケーブルが隠れていることがあり、ブレードで誤ってそうし

たケーブルを損傷させてしまうおそれがあります。

- g) 悪天候下、特に雷雨時はヘッジトリマーを使用しないでください。それにより落雷事故が起きる危険が低減されます。

26.9 ロングリーチヘッジトリマーの安全上の追加警告事項

- a) 感電する危険を低減するために、ロングリーチヘッジトリマーは絶対に電線の付近で使用しないでください。ロングリーチヘッジトリマーを電線に接触させるか、電線の付近で使用すると、重傷を負うか、感電死に至るおそれがあります。
- b) ロングリーチヘッジトリマーは、必ず両手で保持してください。制御を失わないよう、ロングリーチヘッジトリマーは両手で支えてください。
- c) ロングリーチヘッジトリマーを使用して頭上で作業を行うときは、ヘルメットを着用してください。落下物で重傷を負うおそれがあります。

www.stihl.com



0458-683-4321-B



0458-683-4321-B